

平成28年度第2回富里市産業振興推進会議議事録

- 1 日 時 平成28年11月18日（金）午後2時から午後3時55分
- 2 場 所 富里市役所3階第3会議室
- 3 出席者 本多円佳委員，鈴木世津子委員，寒郡茂樹委員，根本実委員，藤崎綾子委員，原幸司委員，二川健一郎委員，櫻井優好委員，中山健アドバイザー
(事務局) 市民経済環境部長，商工観光課長，商工観光課事務局
高須農政課長

〔会議次第〕

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
 - (1)富里市の産業政策の現状について
 - (2)会議の運営等について
 - ①作業部会について
 - (3)その他
- 3 その他
- 4 閉 会

〔会議概要〕

1 開 会

（事務局より開会のあいさつ

議事録作成のため会議を録音することを説明。市民経済環境部農政課高須課長の出席を報告。）

2 会長あいさつ

（会長あいさつ）

事務局 本日の会議の定数の報告をした。過半数以上の委員の出席があるので、富里市産業振興推進会議の運営に関する要綱第3条第2項の規定により会議は成立している。本日の欠席している委員の報告をした。会議は、富里市産業振興推進会議の運営に関する要綱第3条第1項の規定により会長が議長を務める。

議 長 本日は傍聴人はおられますか。

（傍聴人なし）

議 長 会議を再開します。

議題(1)富里市の産業政策の現状について

事務局 資料に基づきまして、初めに農政課の高須課長から農業政策について説明をお願いします。

高須課長 （資料により農業施策等について説明）

事務局 続きまして、商工観光課商工振興班から商工振興政策について説明をさせていただきます。

事務局 （資料により商工振興施策等について説明）

議 長 皆さんから一言いただければと思います。原さんからお願いします。

D委員 商工業につきまして事業所数、規模等概ねそういう感じだろうとい

うデータでありましたが、小規模の中でもそのまま小規模で残りたい人と限りなく中規模に行きたい人とあると思います。中規模に行きたいという人についても、何か一緒に考えていくのかどうかというところもあろうかと思っています。一番大事なことは小規模を廃業させないということが非常に重要なことだと思います。

J 委員　私も元々富里市で育ったわけではありませんので、資料を見て具体的に知ることができてすごく分かりやすかった。今後の課題といえますか、先日も創業セミナーに私も女性5人に声をかけて参加しました。途中、女性の場合家庭の事情とかお子さんの七五三に重なったりして、やる気はあってもやはり家族優先ということがあって、4日間連続で全て受けるというのが難しいなと改めて感じました。でも、女性にとってもすごくいい機会だなと思いました。セミナーといえば、男性が主催し男性の講師がいて、たぶん参加者も男性の方だろうと思うと、女性が起業したくても自分はまだそこまでいける身分じゃないと思ってちょっと抵抗がある。やはり女性も結構起業したい人は多いですから1人でもどんどん相談しやすい環境を整えたり、もっと気軽に相談会みたいな形で開いていくのも一つかなと思いました。日曜日のみとなると、来れない人も出てくると思いました。又、商工会青年部でもセミナーがありました。それは経営している人がさらにブラッシュアップしたり経営の見直しをするセミナーで、私は両方参加させていただきました。そういう機会がすごく増えると、やる気とかモチベーションが上がりますので、どんどんやられたらいいなと思いました。

アドバイザー

数字の面では減少しているところが多いです。どこの自治体も一緒ですが、将来的なシナリオは悲観的な見方しかできないです。その中で増えている部分に着目したほうが良い。人口が減少していることは、どこでも同じですが、その中で増えているところに特徴を見出そうということですが、例えば農作物ではにんじんは増えている。すいかはだんだん減っていくのではないか、逆に増やさなければいけないのか、戦略的にどこに重点を置くのか考えていかななくてはならない。例えば商品の品目にしても主としてどこに資源を投入していくか。

産業別でいいますとサービス業は事業所としてはどんどん増えています。平成21年からみると平成26年は550から710に、160位の事業所が増えていて比率的には高い比率で増えている。就業人口にしてもサービス業は増えていて農業関係も大規模農業は増えている。

小規模農家をいかに維持していくか。サービス業の増え方ですが、大きく増えています。小分類のところでどこが増えているかわかりますか。

事務局 申し訳ありませんが小分類のデータを用意できていないため分かりません。

アドバイザー

サービス業、第3次産業が増えていく傾向がありますが、卸売、小売業この辺も一旦急に減っていますが、そこから少しずつ増えている状況が見られる。製造業は若干減ってはいます。自治体向けの調査のデータを見たことがあります。市町村にとっての戦略的な産業は何ですかと尋ねたときに、一番多いのは農商工万遍なく重点的に増やしていきたい。その次に来るのが製造業です。数は少なく全体の中では10数%しかありませんが、多くの自治体は製造業を振興させていきたいと回答している。それから1次産業、農林漁業が同じように多いです。特徴を出していくことが重要だと思います。マーケティング的な視点を持ってビジョンを作らなければいけないとよく言われます。マーケティングでいうとセグメンテーションといいますか、どういう層を対象にしていくのか、観光にしてもどういった人達を対象に、例えば観光客を誘致していくかを考えるべきと思っております。

A委員 農業政策の現状についていろいろお話がありましたが、気になるのは富里市として集落営農というものの価値観、或いは問題提起が本当に推進できるのかというのが疑問に感じているところでございます。

また、農地管理機構につきましてもやはり借り手の市場で貸し手の市場にならないという問題点もあると思いますので、セグメント的に問題提起されたものに対しての解決策を相当真剣に考えていかなければ

ばいけない。私自身も農業出身ではありませんから細かいことは分かりませんが、やはり、第1次産業の発展が富里市として最大限の目標であることは、皆考えている。部分的には所得水準が高額者の方に移行しているのが見受けられますが、全体的に見るとやはり偏っている部分も見受けられますので、やはり平均的な状況になっていくためにはどのような方策を取っていくのか気になるところであります。

成田市の市場の移転については、果たして富里市として輸出産業のノウハウをどこまで認識した上で、その産業に参入して行かれるところがあるのかどうか。いずれにしても成田市の事業がスピードアップしてなされている状況もありますので、参加することに対しての否定感ではなく、参加することの肯定論であるならば、今申し上げているような技術的な面をしっかりと出されたほうが良いと思います。

商工関係につきましては、企業創業資金が27年度実績でどのくらい95件の中にあっただのか分かりませんが、確か27年度は3億円の融資枠があったかと記憶しております。その中で企業創業資金がどのくらい利用されたかということも気になるところであります。

観光資源の中で、旧岩崎家末廣別邸の本体と隣接地の使い勝手、ハードルがもう高いのは分かりますが、どういう形でスピーディに対応していくかということが非常に危惧されるところであります。補助金の申請も限られている中で担当者は苦労されているとは思いますが、細切れ的な資金の調達方法ではこういった問題を一元化して活用していくのには若干疑問があります。どのような形で短期的に開発行為を含めた活性化をしていくか、皆さんにもお伺いしたいし、最大限の努力をしていくべきと思っております。

E委員　私は仕事柄、農業に係わっているのですが、農業方面の話になります。農政課長からも話がありましたが、2020年に新成田市場が完成されるということで、輸出についても力を入れていくとおっしゃっていましたが、まさにそのとおりだと思っております。今年は、富里すいかがテレビ番組に取り上げられましたが、これが海外で放送されるという話が出ておまして、それが放送されると海外の消費者もすいかを購入したいという話も出てくると思いますので、力を入れていく必要があると思います。また、JA富里市のすいか部会も東京オリンピ

ックに向けて、選手や関係者にすいかを提供したいと話をしていて様々な取り組みをしております。今後、海外にも視野を向けていろいろな対策や取り組みをしていったほうが良いと思います。

I 委員 女性の役割として都市と農村の交流について、都市化が進むにつれて都市と農村の距離が遠くなってきている傾向があると思います。都市と農村が共存し続けていくためには農業体験の場を提供することも必要ではないでしょうか。一つの例として各団体や女性部組織は、農林業センターの施設を利用して味噌作りなどを行っておりますので、市民の方にも参加していただいて、一緒にやれたら良いと思っております。

G 委員 富里ではすいかが宝だと思います。日本国内では行く先々で富里と言えばすいかと言われます。先日、山口に行ったときに千葉と言えば落花生ですねと言われました。どこに行っても千葉は落花生だと知名度はあります。私は県の落花生の会長や全国落花生協会の理事長もやっていますが、生産量は相当落ちています。消費量でいうならば全体を100とした消費がある中で、国内産はどれ程のものがあるかというと、10%くらいです。その10%の国内生産量の内、千葉県産は75%位、他に茨城産が12, 13%, その他は神奈川, 埼玉, 九州産です。国の予算が5年間に渡って、県も入れて機械の開発を行っております。手作業が随分多く、作付け作業で腰が痛くなる。でも機械が出てきても女性が機械を使わないから、それを緩和しようということで相当の予算を使って、もうじき完成というところであります。現状は、県内では落花生専門の業者が農家から買っていたのが、もう農家が作らないから自分達が農地を借りて作っている。八街近辺の落花生農園, 富里にもありますけれども、専門業者がやっている状況です。

さっきのデータの中では大規模農家が増えて、経営が良いところもありますが、大規模にしたら人を雇い入れます。シルバー人材センターに依頼するところもありますが、外国人を雇用しているところもあります。しかし、そのときの相場によっては、大規模であっても経常的経費、人件費等々を支払うと厳しい状況です。

農協も取組んで直接取引、特にセブンイレブン、イトーヨーカ堂系

と全国的に先駆けてやっています。農家の全体としての収入としては県内でも上位です。全国的にみても専業農家で畑作地帯ですが、収入の面ではある程度は一定の収入を得ていると思っています。

今、にんじんの時期になりますが、実はこのにんじん畑、今から3、40年前は大部分が落花生畑でした。それがにんじんに移行してきた。それは機械化が進んだことによります。当時は手作業でした。にんじんを掘り上げるのはトラクターで、根切り葉切りは畑で包丁を使って行い、コンテナに入れて家に持って帰る。洗う機械はあるけど選別は全部人間が秤に乗せてやる。今は自動で選別する機械ができた。また、袋詰めもまとめてパッケージセンター等に持って行ってやる体制です。機械化が進んでいるところはある程度伸びていきます。すいかが段々と減ってきているが、実はすいか栽培は全部手作業です。30年前からいくらか進んだところは交配だけで、ツルをつけたり畑に植え付けるのも手作業、ビニールを張るのもある程度は手作業の部分があったり、ビニールをかけるのも手作業です。労働力が必要ですから随分厳しいと思います。

それから台風9号の被害状況について、市町村単位では一番被害額が大きくて3億5千万円位でした。県全体では9億5千万円位です。施設の中で何が被害を受けたかという、すいかを作るハウスです。そのハウスをもう一回作り直して頑張ろうという人と、これを機会にやめようという人も出てきています。すいか部でも頑張っって補助金等も利用し、市も一生懸命やっっていただいているので、また再生してやろうという人もいます。来年の面積は、これからの苗の注文等で分かってくるのですが、やはり減少はしているのかなと思います。すいかがの価格がある程度高値で進めば継続もできるのではないかと思います。雨の日でも風が吹いていてもすいかは畑を見て回り、天気が曇りそうだ雨降りそうだとすると畑に出てビニールを閉める作業がある。でも、やっっている中で一番農家がうれしいときは出荷するときです。出荷するとき、ある程度の相場になっていればやっったなといったところがあります。

東日本大震災の前は、外資系の企業との取引は2億以上ありました。それが原発事故から放射能を浴びているということで一切全部消えました。中国でインショップでの富里産のコーナーを設けてやっ

こともあります。海外輸出については、知事も台湾や他のところにもPRに行っていますが、まだ千葉県の農産物は出せない。海外輸出も農家にとって本当に収益になればいいなという思いはあります。

先程、農政課長が言ったように市と農協がこんなに一緒になって行動している地域は他に意外とないです。これは自慢の種です。こういう市と農協の関係は何十年と続いているんですね。今後ともそういうことがやっていければ農業についてはよいと思います。

それから農地管理機構の話がありました。農地管理機構については国の政策の中で千葉県が一番遅れています。園芸協会が農地管理機構を受けてそれを各郡単位ですが農業事務所があります。ここには専任の県の職員を設けて今活動をやっていますが、数字的には全国的に低い。農地管理機構の中で貸す、貸さないという話がありましたが、場所にもよります。耕作しやすい場所はすぐ借り手がありますが、山の中や入って行くのに非常に細い道だったり、仕事がやりにくい場所は厳しい。先祖代々使っていた畑を人に貸してどうされるかわからないから貸したくない、また相続ではっきりできないという理由で貸すことができない場所もある。

富里は東京にすごく近い場所で、酒々井インターもできたのでいろいろ動きが取りやすい場所です。取引所でも富里といたらすぐ分かって来てもらえる場所で、直接取引とあって、スーパー等、今30数社と商談等も随分やっているのを皆さんに知っておいていただくと良いと思っています。あと、加工品ですが、すいかでもいろいろ捉えられているのですが、にんじんも同じです。これから知名度があるものをこのまま押し進めていって加工品等々を販売し、或いはこの先、道の駅とかいろいろな話の中で加工品の開発をもう少し手がけていければもっと良いと思います。

B 委員 いろいろなデータをご説明いただきました。これから、産業振興ビジョンを作るということで、このデータをどう読み解いていくのかということが一番大事になっていきます。そこを読み違えないようにして手を打っていくというのがこの会議の目的でもあると思っています。そういう意味からすると、商工業のところでは事業所の数が下げ止まった感が少しあって、24年から26年を比べると少し増えて反転

している状況をどう考えたらよいのか。また先程から、創業という話も出ていますが新たな事業所を起こす方も増えてきているというのは、産業競争力強化法を作って、日本全体としてそういう機運を盛り上げていこうということもあろうかと思えます。富里市の創業セミナーが27人集めたということは、これは少し明るい材料なのかなと思っています。産業振興ビジョンを作るときに総合計画と少し違う色合いを出していかなくてはいけないと思っていますのですが、中山先生からもありましたが、ターゲットについて、総合計画は中小企業を活性化するとか総花的に書かなくてはいけない部分があるとすれば、産業振興ビジョンは少しターゲットを明確にして、例えば創業だったらこの創業を特に狙うんだとかそういった方向で考えたほうが良いと思います。この間、私は南房総市の市役所の方とお話をしたときに、南房総市も創業の相談が日々来ると言っていました。あの地域の特徴は、やはり移住がセットになっているということがあります。どんな創業の相談が多いかということ、海の見えるカフェとか、地域経済にどれだけインパクトがあるかということと違う議論もあろうかと思えますが、移住ということで東京や神奈川から人口が一人でも二人でも増えるとインパクトが南房総市の施策に非常に大事になってきます。県の立場で市町村を見ていると、非常に市町村によって特徴があります。ちなみに昨日の日経新聞に木更津市の記事が出ていたのですが、木更津市も就農を活性化させたいということで、これも都会から若者を移住とセットで新規就農をさせようという記事でした。彼らのキーワードはオーガニックということです。有機農業で都会の若者が新規就農したいという方の中には、やはりそういうことにこだわりを持っていらっしゃる方が多いという、そういう狙いなのかなと思っています。単に新規就農ということではなくオーガニックで新規就農、広い意味での創業です。農業の創業をするのであれば、オーガニックという付加価値をつけて、木更津はそれを展開する支援策を持っていますというお話だと思えます。

そこまで深堀ができれば富里らしい産業振興ビジョンになるのかなと思っています。こういうある程度明るいデータを、追い風が吹いているのを最大限生かしていくデータの取り方を、やっていくことだと思います。あと、資料の11ページで従業者規模別で見るとやはり

小規模企業が相当なボリュームゾーンになってきているわけです。原さんもおっしゃられましたけれども、産業振興ビジョンで中小企業を支援するけれども、特にボリュームゾーンである小規模企業について、富里はこういう支援を行っていくんだという方向性で物事をお考えになると良いと思っております。前回の会議で申し上げたと思いますが、やはり1名から4名ぐらいの方の特徴を聞いてみるということだと思います。どんな支援ニーズを持っていて、今何が課題となっているのか。原さんがおっしゃったようにもう少し大きな展開をしたいという企業さんもあるかもしれませんし、或いは規模はこのままでいいが安定的にやって行きたいんだと、いろんな方がいると思います。やはり1名から4名の小規模企業さんの支援ニーズをつかまえて、今度の産業振興ビジョンでは、その人たちの支援ニーズはこういうところにあるのでこういう施策を行っていく。総合計画よりも少し中身が見える方向性でお考えになったら良いと思っております。

議長 ありがとうございます。私からも意見を述べさせていただきます。切り口がいくつかあると思いますが、やはり私も同じ意見で、二川さんのご意見のとおりかなと思っております。実際のアクションプランをどのように考えていくかが一番大事だと思っておりますが、まさしく小規模企業が多いので、小規模企業に対する様々なサポートが必要だと思います。今回、創業セミナーをやって創業の希望者も多かったですが、事業承継に関しても、もっと深堀しながらやっていかなければいけない。このままですと、後継者がいなくて自分の代で終わりだと考える人は結構多いから、その部分についての対応をいかにやっていくかということが大事だと思っております。創業については、農業ですと就農でしょうか、やはり富里の農業環境は非常に良い。商工業にとっても空港が近いので非常に創業にとっては良い環境です。どのようなサポートをどのようにしてあげるのかというセットメニューを、特に経済団体、金融機関その他の団体と一体化してやれるようなことをやっていくことがわかりやすい考え方なのかと思っております。それがまず一つです。

それと観光振興も含めて、今年やっとなら商工観光課ができて特にこれから考えていければいいと思っておりますが、その中で馬がテーマになると

思います。馬については、前から言っているように乗馬クラブが多いということもあります。国際化というキーワードと一体になりますが、軽種馬のところは関東のエリアの中では3つしかない国際売買の検疫の場所であって、そこで昔はセリがあったそうですが、今後を考えると馬の国際売買はもっと広がり、それが段々もっと中小のレベルまで行くだろうなと思っております。国際化というキーワードで事業戦略をしていくときには、農業の話も先程ありましたが、マーケティングを含めていろいろやらなくてはなりません、環境が整うということに関しては富里の農業はチャンスだと思っております、また、建設機械の国際見本、オークションみたいなことも結構やっています。空港に近いというプライオリティを最大限生かせると思いますので、特に馬というのはテーマとして非常にわかりやすい。農作物も特に、にんじん、すいかもどこまでできるかわかりませんが、テーマになりやすいので、いくつかのテーマを掛け合わせながら富里独自のものというのを持っていけるのかなと思っております。これからも議論があれば良いと思っております。

ひと通り皆さんから伺いましたけどもその他ございますか。

アドバイザー

先程、B委員からご提案ありましたが、こういった数値化されたデータだけで物を言うと、今の状況だと絵に描いたもちにどうしてもなりがちなので、予算があれば、事業者が何を考えているか、後継者がどのくらいの人がいるのか、或いは予定されているのか、されていないのか。それから施策に対してどういうニーズをお持ちなのか。例えばアンケートのような形で取れると良いのかなと思います。特徴があるものができる。それを踏まえたビジョンですと言える。うまくマッチングさせられると良いと思います。100でも200でも良いでしょうけど。商工会ですと700位事業者がいて、農協さんもあるでしょうから、紙1枚で10問位の質問ができると思います。事業者、経営者が何を考えているのか、どういうニーズをお持ちなのかということ、施策をうまく踏まえて、それを後押ししてもらえようなデータがあるともっと良いと思います。数値化されたものだけで物を言うのではなく、その間にクッションといいますか、人の考え、事業者

はこういう考えを持っている,裏にこういう数字があるのですが。そこからこういうニーズがあってそのニーズに対応したビジョンを我々は作っていますということが言えれば,協調といいますか,事業者が見ても安心できる。市はよくやってくれているなど,自分達のニーズを捉えてくれているという形にできると良いと思います。市民のニーズというのはいろんな形で捉えているので,これについては必要ないけれども,副題的には市民と事業者のニーズを踏まえた総合計画のようなイメージで作ると本当は良いのかなと思います。もちろん予算が伴いますので,なければならぬやり方を考え,既存のものをうまく使って作るしかないと思います。

議長 ありがとうございます。その他にありますか。

D委員 今,アドバイザーのお話しの中で事業者は何を考えているのかという部分で,そのニーズ,考え方をアンケートで取るということであれば,せっかくやるのであれば,もう一歩進めて,できれば直接話をして情報収集したほうが良いと思います。なぜならば,私の周りの小規模事業者,個人事業主,家族のみという事業者の多くから,私が受けている感覚としては,現状維持で十分生活がしていけるので特にこれ以上のニーズはないという回答が,紙に書くと出てくる可能性があると思っていますからです。産業振興基本条例ができて,国を挙げての小規模事業者の支援とか,金融もそういう施策があるということも,そんなに頭に入っていない人がほとんどだと思います。直接話をして情報収集するほうが,予算も使わず,より実態に近いものが把握できると思います。

今,分かっていることは,私の周りもみんな農家の方なので共通して言えることですが,後継者がいないということと労働力不足ですね。この2点は共通の重要な課題だと思います。今後,伸びていくための絶対必要なものとして,やはり成田空港の機能の拡充というものは推進するんだというスタンスを明確にすること。以上の3点は,今の時点でほぼ間違いなく重要であると思っています。

B委員 今のご発言に関連して,県も中小企業支援のアクションプランを来

年改正することになっておりまして、地域勉強会とあって、前回話をしましたが、地域を回って中小企業さんと意見交換をやっています。これは富里市さんへのご提案であります。もしよろしければ県と市と合同でやるというのも一つのやり方だと思います。これはご提案として申し上げておきましてご検討していただければと思います。

I 委員　私は農業についても思うことがありまして、それが実際実施していたら申し訳ありませんが、例えば人口減少の現状があって、富里市のすいかは、今すごく広まっていて、それを減らさずに行こうとしても実際に携わる人が高齢者で、お子さんが継がないとしたら、縮小するしかないわけですが、それだともったいないことです。人口が減るということは、農地も段々減っていくのかなと考えるのですが富里の中の人口で何とかしようというのではなく、外から携わってくれる方を増やす政策が必要ではないかと思えます。それは商業も同じで、今小規模事業者がほとんどですが、私の子どもが成長したことを考えますとやはり創業というとな卒の人がいきなり創業するかというとしませんよね。やはりどこかで経験なり、会社に就職活動して入るわけですが、富里は人口が減っていくし、子どもが市外に出てしまうのでは、やはりマイナスを辿って行ってしまうと思えます。実際今そうだと思います。商業にしても周りが小規模企業ばかりだと、市内で子どもに就職させたいと思っても就職させる企業がないと市外に出るしかない。そうすると、富里の人口を守ろうとすると小規模事業者には何らかの支援とか、もっと大きくできるような対策、働きかけをして企業として大きくなってもらうということが必要であると思えます。それぞれの事業者が現状で満足して、これ以上やってくれないかもしれませんが、市は小規模事業者が多いということで満足しては、次の世代が外に出て行くことは目に見えています。対策として、例えば、経験を積んで戻ってきて起業してもらうために、特別にこういうことを支援しますよとか、あと農業でも外の人に来てもらう、興味のある人に来てもらう。でも、外の方も実際やっていけるのか不安もあると思えますので、すいかでこれくらいの収入が得られて、具体的に移住したらこういう補助を市がしてくれる、すいかの指導もする、ある程度の保障をすることが必要と思えます。予算が必要であると思えますが、

外から人に来てもらうために，又は戻ってきてもらうためにアクションプランを起こしていくのも一つかなと，富里の人口だけでやっていくのは限りがあるかなと思いました。

議長 いろいろご意見あるかと思いますが，時間が相当進んでおりまして申し訳ないですが，（２）の会議の運営等について入りたいと思います。事務局説明をお願いいたします。

事務局 （資料の１４，１５ページにより説明）

議長 作業部会については一定の作業部会のメンバーを決めるのではなくてフレキシブルにやるということでもいいわけですね。皆さんからご意見ありますか。

事務局 補足をさせていただきます。まず左側の産業振興ビジョンの策定体制とあります作業部会と産業推進会議の間にございます検討材料の提示と意見のやりとり，意見の部分につきましては第１回，本日も含めて多くのご意見を頂戴したところでございますので，これを体系別にまとめさせていただいて，そのボリューム等を見ながら先程中山先生からお話をございましたとおり，富里の特徴というところがどの辺に出るかというような内々での項目の設定等にも活用させていただく意味で，皆さんの意見をまとめて作業部会のほうでご披露させていただいて，その中で意見交換の材料を作らせていただきます。当然のことながら，次回の会議の際には材料にしたもの，もしくは材料を踏まえての結果等をご披露するという形で考えておりますが，もし意見交換等，二川委員からお話があったとおり千葉県と一緒にやらせていただければこちらも幸いです。そういう調整も踏まえますと１，２ヶ月でできるかというのは，かなり日程的に厳しいところもがありますので，できる範囲で進めさせていただきたいと思います。作業部会をワーキンググループとして一つのグループで体制を柔軟に取りながら進めさせていただいて，次回以降３回目若しくは４回目の内容について逐次検討の内容をご披露していくという形を取らせていただければと思います。以上でございます。

議 長 ありがとうございます。
 議題（3）その他

事務局 事務局からは特にございません。

議 長 委員の皆様からございますか。なければ事務局に進行をお返しします。

事務局 3 その他については特になし。
 これを持ちまして、第2回富里市産業振興推進会議を終了させていただきます。ありがとうございました。